

誌上シンポジウム

動機づけと社会性のインタラクション

—学校教育段階における動機づけの発達—

企画主旨

名古屋大学：中谷素之

今日、教育現場において、子どもの社会性の発達に関わるさまざまな問題が注目されている。例えば思いやり意識の低下や規範意識の欠如、あるいはいじめといった攻撃や問題行動など、子どもの社会性の未熟さや発達上の課題が考えられる問題がある。その一方で、近年の学力低下や意欲低下の議論を待つまでもなく、子どもの学力や学習意欲など、子どもの学習、学びへの態度に関わる問題も提起され続けている。そしてこれらの問題は、独立した、別箇のものとして生起してきているのではなく、子どもの発達やパーソナリティ形成の過程において相互にかかわりのある問題としてとらえることが可能である(例志水, 2005)。

これらの問題に対して心理学的視点から検討するには、従来検討されてきたような、ある個別の研究領域のなかでの議論にとどまらず、個々の研究領域を越えて、子どもの発達を巡って領域横断的にアプローチすることが重要であろう。すなわち、学校や家庭といった社会的状況において、子どもの社会性の側面と、意欲・動機づけという側面とが相互にどのようにかかわり、影響を及ぼしているのかを論じることが必要だと考えられる(例 Eccles & Roeser, 2010)。

従来、動機づけ研究と社会性研究は別々の領域で研究が進められてきたが、現実には、子どもの動機づけと社会性は、互いに深くかかわっているものと考えられる。例えば学校における授業やさまざまな協同活動の場面では、学習動機づけと社会性は学びの両輪として機能しているといえるだろう。

動機づけと社会的関係や、その基盤にある社会性との相互作用は複雑であり、これまでそのようなメカニズムが実証されてきたとはいえない。その一方、基礎的・進化的研究(例感情と知性・知能; Ciarrochi, Forgas, & Mayer, 2006)、発達的研究(例共感と社会的行動; Eisenberg, 1986)、あるいは教育実践的研究(例問題行動と学習; 小泉, 2010)など異なる複数の側面から、動機づけと社会性に関する重要な知見が見いだされ、蓄積されつつあるといえる。

本誌上シンポジウムでは、児童期から青年期に至る動機づけ発達の問題について、これまで十分明らかにされてこなかった、動機づけと社会性の相互作用および相互影響過程に焦点を当てた議論を行う。伊藤順子氏(宮城教育大学)には、幼児期・児童期の向社会性研究の観点から、社会性の発達と動機づけの関係性について、縦断的および横断的な発達データを用いて検討し、ご議論いただく。また小泉令三氏(福岡教育大学)には、児童・生徒の社会性と情動の問題をあわせて理解・介入し、さまざまな教育実践的な応用として展開されている、社会性と情動の教育プログラム(SEL)に基づく実践的成果やデータからご提案をいただく。さらに中谷素之は、学習動機づけ研究の動向として、社会や他者に開かれた学びとして位置付けた、目標研究のなかでも多面的目標研究という観点から、教師と児童、あるいは児童どうしの間で育まれる動機づけと社会性とのかかわりについて、いくつかのモデルを提起し、議

論する。指定討論として、遠藤利彦氏（東京大学）からは、発達心理学および情動発達研究の視点から、また鹿毛雅治氏（慶応義塾大学）からは、教育心理学および動機づけ研究の視点から、それぞれご議論をいただく。

学校教育場面において、社会性・情動と動機づけとはいかなる関係にあるのか、またそれらの有益な相互作用を生み出すにはどうすればよいのか。理論面と実践面の両面に焦点を当て、成果と課題を展望する。

注 本誌上シンポジウムは、2012年日本発達心理学会第23回大会 大会準備委員会企画シンポジウム『学校教育段階における動機づけの発達 動機づけと社会性のインタラクション』の内容に加筆・修正を加えたものである。

引用文献

- Ciarrochi, J., Forgas, J., & Mayer, D. (Eds). (2006). *Emotional intelligence in everyday life 2nd ed.* NY: Psychology Press.
- Eccles, J. & Roeser, R. (2010). An ecological view of schools and development. In J. Meece, & J. Eccles, (Eds.) *Handbook of research on schools, schooling, and human development.* NY: Routledge.
- Eisenberg, N. (1986). *Altruistic emotion, cognition, and behavior.* NJ: Erlbaum.
- 小泉令三 (2010). 学校における社会性育成プログラム実践—社会性と情動性の学習 (SEL) 教育実践総合センター紀要, 28, 1-14.
- 志水宏吉 (2005). 学力を育てる 岩波書店